

校内「常設展覧会」～子供たちの思いが込められた作品展～

校長 酒井 由美子

8月23日に始業式を行い、2学期が始まりました。校内には、また子供たちの声が響いています。夏休み期間中はがらんとしていた校舎が、息を吹き返したようです。きっと、校舎も子供たちの登校を待ちわびていたに違いありません。

8月4日に開催された「つばきの郷赤祖父夏まつり」では、子供たちが作ったあんどんを展示していただきました。それぞれのあんどんに灯りが点され、色鮮やかに会場の雰囲気盛り上げていました。どの作品にも、一人一人の子供らしさが表現されていました。

学校では普段から、子供たちが授業で取り組んだ作品を各学年ホールに展示しています。書写や図画工作、美術の作品、国語の俳句など、子供たちの思いが込められた生きた作品が並んでいる、校内の「常設展覧会」です。私は、新しい作品が展示されるたびに、それを作った子供の顔を思い浮かべながら作品を見ています。赤にするのか青にするのか、○にするのか□にするのか、何か思うところがあって意識してまたは無意識に選んでいるのではないかと考えています。子供たちは作品を通して自分の心の中を表現している、そう思うと、「ここを青色にしたのは、どんな気持ちだったのかな。」「家族を大切に思う優しい気持ちが伝わってくる。」「どんな思いを表現したかったのかな。」そんなことを考えながら見えています。

一人一人の子供が作品に自分の思いを吹き込むことで、その子供にしか作ることができない作品が完成します。だから、同じ作品は一つもありません。

学校は、子供たちが生き生きと活動し、元気な声が響くところです。子供たちが制作した作品もまた、それぞれの子供らしさを輝かせてくれています。2学期も、どんな作品が見られるかとても楽しみです。

地域のみなさま、いつでもお気軽にお立ち寄りいただき、校内の「常設展覧会」をご覧ください。



9月の行事予定

<p>2日 (月) シェイクアウト訓練</p> <p>3日 (火) 学校訪問研修のため午後放課</p> <p>6日 (金) 委員会</p> <p>10日 (火) 語学研修 (9年) 〈～12日〉 集金振替日</p> <p>12日 (木) 市小学校芸術鑑賞会 (4年) 校外学習 (4年)</p> <p>13日 (金) アルミ缶回収</p> <p>14日 (土) 地区新人陸上大会 (7、8年) アートワーク大会 (アート部美術コース) 市小・中学生科学展覧会 〈～15日〉</p>	<p style="color: red;">地区新人大会 〈～17日〉 (バドミントン部)</p> <p>17日 (火) 小教研のため午後放課 (1～6年)</p> <p>18日 (水) 避難訓練 (不審者)</p> <p>20日 (金) 学習参観 育成会講演会</p> <p>27日 (金) ふるさと学習 (1～6年) 誕生会食 クラブ 英語検定 中間考査範囲表配布 (後期課程)</p> <p>28日 (土) 県中学駅伝大会試走</p>
--	---



- ・ 砺波地区中学校総合選手権大会 サッカー競技
南砺FC 2位
- ・ 第17回やまちゅう交流会 小学生の部
Jの部 3位
- ・ 第19回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ in 高崎
女子中学生 スタンダード 3位
女子中学生 ラテン 5位
- ・ 第32回砺波地区中学校文化連盟意見発表部門「中学生の主張」大会
優秀賞



～子供たちの活動の中から～

ハウセンカ・モンシロチョウの観察日記 (3年生)

3年生では、理科の学習でハウセンカやモンシロチョウを育てました。子供たちは、初めて取り組む活動に興味をもちながら、毎日観察やお世話をしました。ハウセンカの観察では、昨年学習した野菜の観察の経験を生かし、「最初に生えてくる葉には、子葉という名前がついていたんだね。」



「ハウセンカは、野菜みたいに実がなるのかな。」といった声が聞こえました。さらに、登校時や休み時間を使って水をあげたり、太陽の当たるところに移動させたりして大切に育てました。モンシロチョウは、寄生虫が原因でチョウになるまで育てることは出来ませんが、息を引き取った幼虫のためにお墓を作りました。子供たちは、小さな生き物も自分たちと同じ命があることを知り、大切にしていかななくてはならないと気付くことが出来ました。また、身の

回りの生き物と比較したり、チャレンジノートに成長過程を書いたりするなど、進んで生き物の知識を身に付けようとする姿が印象的でした。

2学期も引き続き観察を行います。1学期に学習したことを生かしながら、生き物の成長を見守ると共に、子供たちも大きく成長することができるように声を掛けながら見守っていきたいと思います。

